

しあわせ

vol.503

2012年8月

H a p p i n e s s



第14回 連合千葉平和集会開催!



茂原七夕まつり(茂原市)

●ひとりで悩んでいませんか? **くらし何でも無料相談**

ちばライフサポートセンター

☎ 0120-53-4141 メール info@chiba-lsc.jp



連合千葉平和集会 開催！

平和運動の継続・発展と、一層の運動強化を図ることを目指して

去る7月21日（土）、千葉県労働者福祉センター大ホールにおいて、組合員とその家族350名の参加のもと、第14回連合千葉平和集会を開催しました。

今回の平和集会は、平和運動の継続・発展、一層の運動強化を図ることを目的に、歴史を学び共有化し、私たちが考え「語り継ぐ」ことをテーマに開催しました。

はじめに主催者を代表して黒河会長より、本平和集会の趣旨と連合方針に基づく平和運動の継続・発展の訴えがされました。

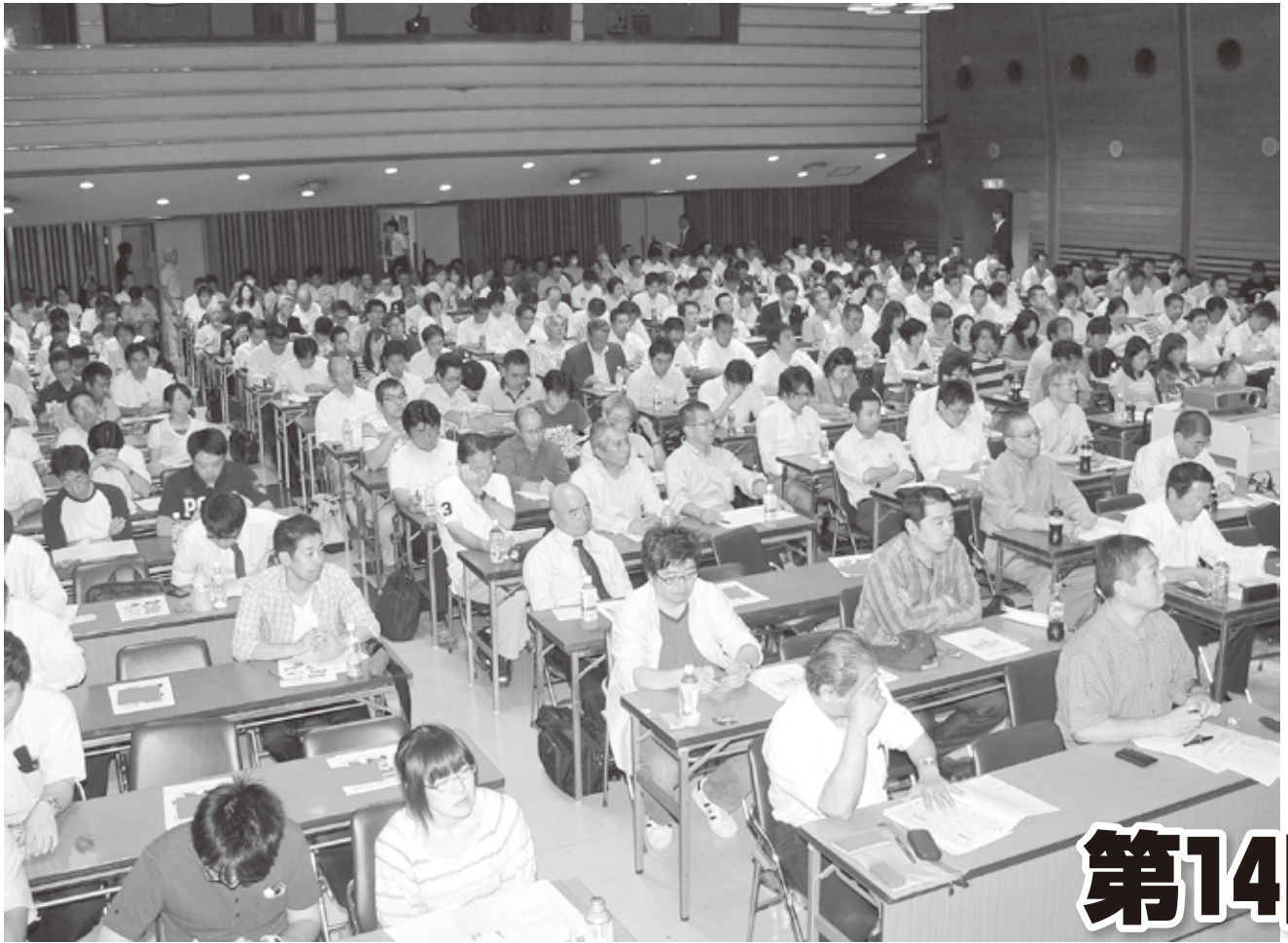
第1部では平和の語り部として活躍されている、広島県原爆被害者団体協議会理事長「坪井 直」氏を講師に招き、実際に体験されたこととして、原爆が投下されて67年が経過した今も被爆の後遺症によって多くの人々が苦しんでいる実態がある。私たちは、この事実を決して風化させることなく「語り継ぐ」こと。同



黒河会長代表挨拶

じ過ちを起こさないため、一人ひとりが考え行動し、核兵器廃絶の取り組みを前進させ、そのことが世論喚起につながることを学びました。

第2部は、実際の戦争記録を映像化した「沖縄戦の証言」のDVDを視聴したのち、連合沖縄会長「仲村 信正」氏より、沖縄の歴史と、米軍基地等に関連した現在起きている数々の問題について講演をいただきました。最後に、日本における米軍基地問題、報道でも取り上げられているオスプレイや、日米地位協定の抜本的見直しなど、現在連合が取り



第14回



連合本部総合組織局長 山根木晴久氏



連合沖縄 仲村会長



講師 坪井理事長



また、会場の入口には、沖縄戦の写真や絵、広島を中心とした原爆の写真パネルを展示するとともに、広島で犠牲になられた皆さまに、献納する折鶴の作成も参加者にご協力をいただきながら、平和を祈りつつ閉会としました。

組んでいる内容を連合本部総合組織局長「山根木晴久」氏よりご講演をいただき、我々が出来ること、取り組まなければならないこと等も学びました。

千葉県生活協同組合連合会 第63回通常総会を開催

6月28日、千葉市内において千葉県生協連第63回通常総会が開催されすべての議案を賛成多数で可決しました。総会には、千葉県環境生活部県民生活課、千葉県農協中央会、千葉県労働協、日本生協連中央地連からそれぞれ来賓としてご出席をいただきました。なお、役員補充選挙により3名の役員が新たに就任しました。



千葉県生協連に加入している生協の組合員は、2012年3月時点で、購買生協約102万、共済生協約52万の規模となっております。このうち地域購買生協の組合員は約93万で、県内世帯比による加入率は約37%となっております。また、購買生協の事業高は2011年度総計で約1,315億円となっております。

第19回 協同組合女性交流会を開催

7月3日(火)、木更津市市民総合社会福祉会館を会場に、第19回千葉県協同組合女性交流会が開催され、JA(農協)、JF(漁協)、生協から53名の女性が参加しました。この女性交流会は、千葉県における協同組合間提携の一環として、農林水産業の生産現場での体験や暮



らしに共通する課題の交流を目的に毎年開催されています。昨年は東日本大震災の影響で中止となり、今回は2年ぶりの開催となりました。交流会の前に潮干狩り体験を行い、ひとり2キロほどを収穫し、砂抜きの方法を学びました。その後、魚介類を使った料理講習会を行い、

JF千葉女性連の指導でアサリの貝むきにチャレンジし、「アサリの炊き込みご飯」「アサリのフライ」「アサリの酢の物」「アサリの酒蒸し」「冷汁」「金目鯛の味噌汁」にチャレンジしました。試食・交流では各協同組合の情報交換や料理のヒントなどが活発に出された交流会は暮らしに役立つ「実践を含めます。」などの感想が聞かれました。

第3回 代表者会議開催報告

2012年7月31日(火) 千葉市文化センター・3階アートホールにおいて、全労済千葉県本部第3回代表者会議が開催され、定数200名のうち、組合員代表者196名のもと、すべての議案について原案通り承認されました。
2012年度も引き続き、皆さまのご協力をよろしくお願い申し上げます。

▼千葉県本部2011・2012年度活動計画の重点課題

1. 組合員の生活向上をめざした協力団体と連携する生活保障設計運動の強化と事業拡大
2. 組合員全員が加入する団体制度の推進と普及拡大
3. 共済シヨップによる提案型の情報発信、人から人へを基本とした接点の創出と拡大
4. 職域・地域における対面推進活動の定着と発揮、未継続防止対策の更なる強化
5. 産業別労働組合、労働金庫、全労済指定整備工場をはじめとした関係諸団体等との連携強化
6. 東日本大震災の対応総括および大規模災害における組合員対応スキームの構築
7. 組合員の運営参加の促進、
8. 社会貢献活動・文化活動の展開
9. 組合員保護、経営健全性の確保等にともなう諸課題への対応、品質向上に向けた業務革新および役職員教育の徹底



ZENROSAI NEWS



僕は、こくみん共済。

安心して生きていく。自分も、家族も。

こくみん共済

個人定期生命共済・こども定期生命共済・熟年定期生命共済・備蓄共済・個人賠償責任共済・終身生命共済・個人長期生命共済

全労済は、営利を目的としない保障の生協として共済事業を営み、組合員の皆さまの安心とゆとりある暮らしをめざしています。出資金をお支払いいただいで組合員になれば、各種共済をご利用いただけます。

保障のことなら

全労済

全国労働者共済生活協同組合連合会

ここに記載されている内容は、共済商品の概要を説明したものです。ご契約の際は「ご契約のてびき(契約概要・注意喚起情報)」等を必ずご確認ください。

第12回通常総会が開催される

中央労働金庫第12回通常総会は、6月27日（水）午後1時より東京都中野区のサンプラザホールにおいて、代議員501名が出席し、開催されました。

開会の辞、議長選任、総会成立確認と進み、続いて小川理事長が挨拶を行い、来賓より祝辞をいただいた後、議案審議に入りました。

議案は、報告事項として「第1・2011年度事業活動報告」「第2・第11期（平成23年4月1日から平成24年3月31日まで）業務報告、

貸借対照表および損益計算書の報告」、第1号議案「第11期剰余金処分案承認の件」、第2号議案「第4期中期経営計画および2012年度事業計画設定の件」、第3号議案「定款一部変更の件」、第4号議案「役員選任の件」についてでした。慎重な審議の結果、全議案とも承認決定され、通常総会は終了しました。

なお、第12回通常総会終了後に開催された臨時理事会において、右記の常勤役員体制が確立されました。



理事			
役職名	氏名	備考	
理事長	小川 英一	代表理事	
副理事長	山口 茂記	代表理事	
専務理事	鈴木 一郎	代表理事	
常務理事兼執行役員	加藤 譲司		
常務理事兼執行役員	清水 博		
常務理事兼執行役員	井上 雅夫		
常務理事兼執行役員	山口 淳一		
常務理事兼執行役員	池谷 匠	東京都本部長	
常務理事兼執行役員	吉田 正和	神奈川県本部長	
常務理事兼執行役員	山崎 正美	茨城県本部長	
常務理事兼執行役員	小泉 津都武	千葉県本部長	
常務理事兼執行役員	宮本 重雄	埼玉県本部長	
常務理事兼執行役員	大橋 豊	群馬県本部長	
常務理事兼執行役員	伍井 邦夫	栃木県本部長	
常務理事兼執行役員	渡辺 一彦	山梨県本部長	
執行役員	鈴木 英二郎		
執行役員	米山 企平		
執行役員	山本 雅彦		
執行役員	菊池 良孝		
執行役員	小木曾 治彦		

監事			
役職名	氏名	備考	
常勤監事	八尾 和夫		
常勤監事	森本 充		



理事長挨拶



代議員席の様

今後の在り方も検討！

市川・浦安地区労福協 第15回定期総会開催

2012年7月24日（火）市川市教育会館にて第15回定期総会を開催し、2011年度の活動報告、収支決算報告、2012年活動方針と予算、そして新役員を選出と、全ての議案が承認されました。

2012年度は、まずは活動の理念を再確認し、具体的には、①組織強化と活動領域の拡大②労働団体や福祉事業団体との総合的な協力と連携の強化③文化・スポーツ・レクリエーション活動を通じた交流④地域に貢献する活動の取り組み⑤学習会の開催⑥市川・浦安地区労福協の今後の在り方の検討の6項目に取り組んでいくこととしました。

本総会で選出された、小原新会長を先頭に役員一同精一杯取り組んでいきますので、引き続きのご支援ご協力をお願いいたします。



地区労福協

充実した活動を目指して！

長生茂原地区労福協 第11回総会開催

長生茂原地区労働者福祉協議会第11回総会を7月20日（金）に開催しました。

決算報告がされ、2012年度の事業計画・収支予算が提起、承認されました。

総会では、長生茂原労福協の成り立ちが報告され、設立理念である①政治的中立②地域勤労者の融和と連帯③地域社会発展への貢献④福祉団体の育成強化の4点について改めて確認しました。

2012年度は、①組織の充実と強化②労働者福祉事業の拡大③文化・スポーツ活動の強化④政策制度や今日的課題についての学習・教宣活動の充実を活動方針として、取り組んでいくことも確認されました。

さらに、豊かで平和な社会の実現に向け、労働者福祉の向上に貢献することを基本とした、2011年度の事業報告・収支

今後、より多くの加盟団体への働きかけを積極的に行い、より充実した活動を構築していきたいと思えます。



この秋！おためしボランティア



ボランティア体験を応援する交流会 参加者募集！

各会場とも
定員50名
参加費無料

平成24年度千葉県県民活動促進事業〈ボランティア体験の場づくり事業〉

地域では様々な活動団体が活躍しています。
環境保全、地域福祉、子育て支援、まちづくり…
多くの団体が、一緒に活動する仲間を募集中です。
キャンパスでは得られない貴重な体験ができるはず。

この秋、2会場で開催する交流会では、団体が体験
プログラムを発表し、疑問・質問に丁寧に答えます。
あなたはどんな活動に興味がありますか？

内容

1. 地域活動の役割と意義
2. 体験プログラムの紹介（7～10団体）
3. 情報交換、体験参加申し込み、
体験先との打ち合わせ

★交流会出席後、1～3日の「体験プログラム」に参加できます。

★市原会場 9月8日（土） 13時30分～16時

市原市勤労会館（YOUホール）第4・5会議室

市原市更級5-1-18（JR五井駅東口徒歩15分）

（五井駅西口より国分寺台行きバスで「保健センター前」下車）

★山武会場 10月14日（日） 13時30分～16時

山武市成東文化会館のぎくプラザ 視聴覚室

山武市殿台290-1（JR成東駅徒歩7分）

主催：千葉県
協力：市原市、市原市社会福祉協議会、
山武市、市民活動ネットワーク風の宿
共催：市原市教育委員会生涯学習課「まちづくり塾」
企画運営：NPO法人 地域創造ネットワークちば
〒261-0011 千葉県美浜区真砂5-21-12
TEL 043-270-5601 FAX 043-270-5602
Email : souzounet@coast.ocn.ne.jp



【交流会参加申込み】

お名前・連絡先・関心のある分野を添えて、右記へ
TEL・FAX・Eメールにてお申込みください。
お申込みの方に詳しい資料をお送りします。

NPO法人地域創造ネットワークちば

TEL : 043-270-5601 FAX : 043-270-5602

E-メール souzounet@coast.ocn.ne.jp

2012年は「国際協同組合年」です



協同組合が貧困の解消に寄与してきたことや、市民が協同して行う

協同組合と労働組合の連携強化で 共助・連帯の輪を社会に広げよう！

国連総会で協同組合の促進を宣言

国連は2009年12月の総会で2012年を国際協同組合年と定める決議を行いました。これまで様々なテーマで国際年が設定されてきましたが、固有の組織形態が指定されたのは初めてです。

国連が国際協同組合年を定めた背景

●グローバル経済の進展、市場原理主義のもと世界的規模での貧困と格差が拡大している中で、

社会的事業体としての役割が評価されました。

●2008年以降の金融・経済危機に対して、協同組合が耐久力・回復力を示したことが積極的に評価されました。

【国連のスローガン】

協同組合がよりよい社会を築きます
Co-operative enterprises build a better world

国連の期待、それは「市場経済だけでは解決できない諸問題での貢献」

1. 貧困の根絶

富を公平に分配する協同組合の機能に着目し、貧困の根絶、特に国連ミレニアム開発目標(2015年までに貧困を半減)への寄与が期待されています。

2. 雇用の創出

協同組合は世界で1億人、日本で64万人を雇用しています。また、働きがいのある人間らしい仕事を創出する主体としても注目されています。

3. 社会的統合の強化

社会的排除・孤立化が進む中、女性、若者、高齢者、障がい者等の最大限の社会参加を促進する協同組合の役割が期待されています。

協同組合はこれまで国連のパートナーとして

て、貧困、社会的排除、食糧、環境、居住、高齢化・人口問題、男女共同参画など、市場経済だけでは解決できない諸課題の克服に取り組んできました。国連は協同組合のこうした「よりよい社会」づくりへの貢献、特に左記の3つの分野での協同組合の果たす役割に期待しています。

2012年度 相談活動ネットワーク団体 サポート件数総合報告

相談・支援内容	4月	5月	6月	7月
相談件数	16	20	51	58
労働問題	2	1	1	3
法律相談	5	0	16	12
多重債務	1	0	0	3
生活保護	1	1	4	1
生活困窮	0	0	2	2
年金相談	0	0	0	0
ひきこもり	0	0	0	0
生活設計	0	0	0	1
住宅相談	0	3	2	2
離婚相談	0	0	1	5
融資・生活資金	0	1	1	1
福祉・介護	0	0	4	0
税金相談	1	0	0	0
人間関係	0	0	1	1
メンタルヘルス	1	3	5	7
生きがい	1	1	1	1
就職関係	1	3	2	1
家庭問題	0	2	1	6
相続問題	3	1	3	3
医療・保険	0	0	3	1
その他	0	4	4	8
面談実施件数(内数)	8	1	16	12
支援件数	29	28	49	49
保育所送・迎	8	7	24	22
施設等迎え・夕食支援・預り	18	11	15	18
夕食支援・預かり	0	0	0	0
昼食支援	0	5	6	5
保護者等の病気による援助	0	0	0	0
朝・昼食支援・預かり・送り	3	5	4	4
施設迎え・預かり	0	0	0	0
その他	0	0	0	0
相談件数	49	42	72	56
労働組合関係	1	4	2	1
労働契約関係	14	3	7	10
賃金関係	6	7	14	18
労働時間関係	3	9	7	3
雇用関係	5	9	14	8
退職関係	7	3	8	4
保険・税関係	4	1	1	1
安全衛生関係	4	2	2	3
差別等	1	1	9	5
その他	4	3	8	3
相談件数	58	64	58	50
電話	29	28	26	15
新規電話相談	6	17	12	16
継続電話相談	4	6	2	7
法律専門家相談	4	2	3	1
自力解決	4	2	3	1
継続面談	15	10	13	11
制度など申請支援	0	0	0	0
その他	0	1	2	0
相談件数	1809	1861	1765	0
人生	422	387	403	
思想・人権	6	9	8	
職業	92	88	96	
経済	33	29	29	
家族	301	266	260	
夫婦	100	110	81	
教育	13	9	9	
対人	182	203	179	
男女	73	75	91	
身体	61	78	70	
精神	236	297	282	
情報	16	27	15	
その他	274	283	242	



The logo features a blue bag of money with 'がんばろう 日本!' (Let's do our best for Japan!) written on it, surrounded by gold coins. To the right is a large orange circle with '第29回' (29th) in white and red. Further right is a blue circular emblem with a white golf ball and two crossed golf clubs. Below these elements, the text '千葉県勤労者' (Chiba Prefecture Workers) is written in blue with a white outline, and 'チャリティゴルフ大会' (Charity Golf Tournament) is written in large, bold yellow characters with a red outline.

第29回 千葉県勤労者 チャリティゴルフ大会

ゴルフを通して勤労者の親睦・友好・健康増進を深め合うとともに、参加者からのチャリティ募金は千葉県内被災地に寄附して、震災復興への一助とすることを目的にチャリティゴルフ大会を開催いたします。

奮ってご参加ください。



日時 2012年11月5日(月) 7時30分よりスタート

参加資格 勤労者(千葉県在住及び在勤)とOBとその家族

場所 真名カントリークラブ

参加費 16,000円 チャリティ募金代(1,000円)含む
プレー費・昼食代(ワンドリンク付)・パーティ代・及び参加費

競技方法 18ホール ストロークプレー(新ペリア方式)

パター大会 ラウンド終了後、練習グリーンにお集まりください。
カップイン多数の場合はジャンケンで3名に賞品プレゼント。

申込方法 10月5日(金)までに、お電話にて真名カントリークラブと労福協両方にお申し込みください。

真名CC TEL 0475-24-5215 FAX 0475-24-5216
労福協 TEL 043-241-6681 FAX 043-241-6683

主催 (社)千葉県労働者福祉協議会 TEL 043-241-6681

後援 ・千葉県・連合千葉・中央労金千葉県本部・全労済千葉県本部・千葉県生協連
(予定)